

社外取締役メッセージ



マルハニチロの3名の社外取締役より、自身の経験や果たす役割の認識、抱負などをお伝えします。



大東通商株式会社 代表取締役社長

中部 由郎

略歴

1982年 4月 三菱信託銀行株式会社入社
 1987年 8月 大東通商株式会社入社
 1988年 6月 同社取締役
 1989年 7月 同社代表取締役常務
 1997年 9月 同社代表取締役専務

30年以上ともに歩んだ経験を生かして次なる歩みへ

私は、大東通商株式会社の代表取締役社長として20年近く会社経営に携わってまいりました。この会社経営の知見を活かして、当社のコーポレート・ガバナンスおよびグループ経営に貢献していきたいと考えております。

また、私は株主として、社外監査役として、現在は社外取締役として、30年以上にわたって当社を見てまいりました。その間の当社の歴史はまさにいばらの道であり、200海里漁業規制をはじめ、繰り返し困難に直面してきたと言えます。そのたびに、当社の先輩方は困難を克服し、会社合併も経て、現在に至ってはすばらしい総合食品会社へと変貌しました。

そのような過去の歴史を踏まえて、これから歩んで行く道を正しい方向に導くために、少しでもお手伝いできればと思っております。

2000年 6月 同社代表取締役社長(現)
 2006年 6月 株式会社マルハグループ本社社外監査役
 2009年 6月 同社社外取締役
 2014年 4月 当社社外取締役(現)



弁護士

飯村 北

略歴

1986年 4月 弁護士登録
 1986年 4月 栢田・江尻法律事務所入所
 1988年10月 米国Rogers & Wells法律事務所(現Clifford Chance法律事務所)出向
 1991年 7月 栢田・江尻法律事務所復帰
 1992年 1月 同所パートナー弁護士
 2007年 7月 西村あさひ法律事務所入所

2007年 7月 同所パートナー弁護士(現)
 2014年 6月 当社社外取締役(現)
 2016年 6月 株式会社ヤマダ電機社外監査役(現)
 2017年 2月 株式会社不二越社外監査役(現)
 2019年 1月 弁護士法人西村あさひ法律事務所入所
 2019年 1月 同所社員(現)

弁護士として法令遵守を中心とした経営の根幹を支援

私は、1986年に弁護士としての業務を開始してから一貫してビジネスロイヤーとして活動しており、主として、会社法一般、企業買収、独占禁止法、ライフサイエンス、労務等に関連する案件に従事してきました。

当社に關係する食品関係に焦点をあてれば、食品衛生法等のレギュレーションから食品会社間の統合等のトランザクションまで、多くの案件を取り扱ってきました。また、食品関係のリコール等の不祥事対応も多数扱ってきました。

この弁護士としての経験を活かして、社外取締役として、当社のコーポレート・ガバナンス、コンプライアンス、企業買収、不祥事対応等に関し、率直で客観的な意見を述べさせていただくことが私の役割と考えております。また、私が助言できる問題に関しては、いつでもご質問いただき、これに適切に回答することも私の役割と考えております。



津田塾大学 学長特命補佐 戦略推進本部長
 日本航空株式会社 社外取締役
 株式会社ダイセル 社外取締役

八丁地 園子

略歴

1972年 4月 株式会社日本興業銀行入行
 1993年11月 IBJ International Plc. 取締役副社長
 2002年 3月 興銀リース株式会社執行役員
 2004年 4月 共立リスクマネジメント株式会社シニアコンサルタント
 2006年 1月 株式会社ユキ・マネジメント・アンド・リサーチ取締役
 2008年 4月 エートス・ジャパン・エルエルシー非常勤内部監査人
 2009年 4月 藤田観光株式会社執行役員
 2010年 3月 同社取締役兼執行役員

2011年 3月 同社常務取締役兼常務執行役員
 2015年 3月 同社顧問
 2016年 6月 日新製鋼株式会社(現 日鉄日新製鋼株式会社)社外取締役
 2017年 4月 津田塾大学 学長特命補佐 戦略推進本部長(現)
 2018年 6月 日本航空株式会社社外取締役(現)
 2019年 6月 株式会社ダイセル社外取締役(現)
 2019年 6月 当社社外取締役(現)

人と組織の「想いのベクトル」を揃え、企業価値向上へ

私は、30数年銀行に勤務し、その後ホテル業界に7年余り身を置きました。銀行では、数多くの企業とのお取引やそれに伴う調査分析等にも関わり、企業を見る目が養われたと思っておりました。しかしながら、その後、ホテル経営に参画する経験を得たことで、企業が価値を向上させるためには企業に属する個々人の想いと、組織としての企業の想い、これらのベクトルが揃い、皆で力を合わせる事が必須なのだ、今更ながら痛感いたしました。

個人と同じように、会社にも個性があります。グローバルに複雑化した環境下で、当社の良き個性を伸ばしながら、皆さんのベクトルが揃い実力を発揮しよう、外部の視点を活用し、微力ながらお手伝いをしていきたいと思っております。